

群馬県鉱工業指数 令和8年7月分

1. 公表内容

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業、電気機械工業などが低下したことから、2か月ぶりのマイナスとなった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて低下で推移

◆7月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	106.9	▲10.2	2か月ぶり－	113.7	▲8.2	2か月ぶり－
出荷	100.3	▲4.6	2か月ぶり－	113.5	2.3	2か月連続＋
在庫	172.8	▲2.0	2か月ぶり－	172.1	3.1	16か月連続＋
在庫率	169.4	2.0		154.8	11.7	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月ぶりのマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月連続のプラスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、16か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>低下:化学工業 (▲32.7%)、電気機械工業 (▲28.6%)
<出荷>低下:電気機械工業 (▲25.1%)、生産用機械工業 (▲18.9%)
<在庫>低下:化学工業 (▲9.6%)、その他製品工業 (▲19.1%)

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇:汎用機械工業 (11.6%)／低下:化学工業 (▲32.7%)
<出荷>上昇:情報通信機械工業 (14.2%)／低下:電気機械工業 (▲25.1%)
<在庫>上昇:輸送機械工業 (27.1%)／低下:その他製品工業 (▲19.1%)

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和8年10月末（令和8年8月分）

令和8年7月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

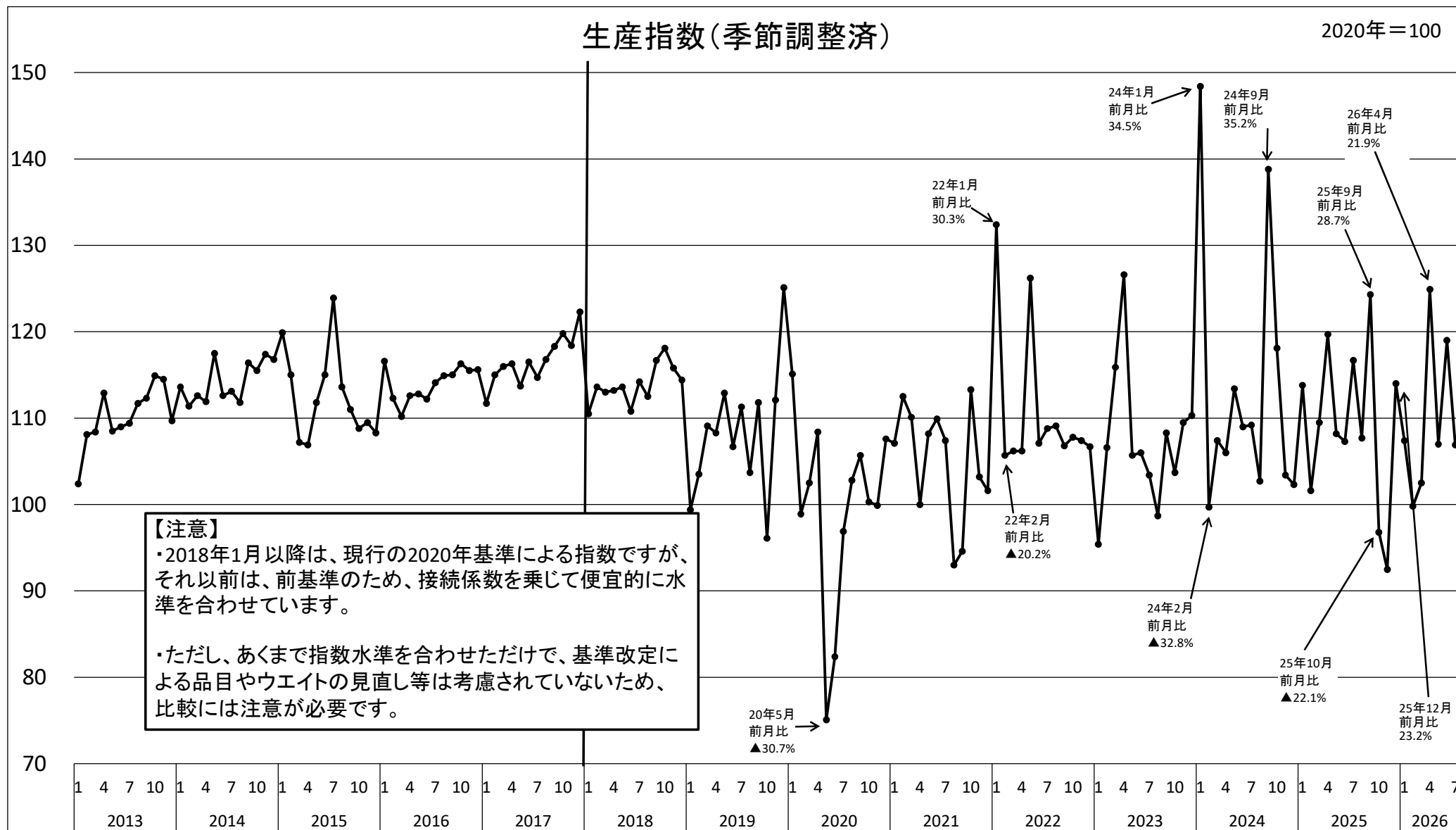
		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	汎用機械工業	0.5	11.6	コンデンシングユニット(7.5kW以上)	ショーケース冷凍機別置形
		電子部品・デバイス工業	0.2	6.9	セラミックコンデンサ	
	低下	化学工業	▲ 5.6	▲ 32.7	医薬品製剤	
		電気機械工業	▲ 4.1	▲ 28.6	半導体・IC測定器	
		輸送機械工業	▲ 0.6	▲ 3.1	普通乗用車	シート
		食料品工業	▲ 0.4	▲ 2.6	清涼飲料	菓子
出荷	上昇	汎用機械工業	0.3	6.9	コンデンシングユニット(7.5kW以上)	ショーケース冷凍機別置形
		業務用機械工業	0.2	7.8	自動販売機	娯楽機器
	低下	電気機械工業	▲ 2.5	▲ 25.1	半導体・IC測定器	
		生産用機械工業	▲ 0.6	▲ 18.9	金型	半導体製造装置用関連装置
		プラスチック製品工業	▲ 0.5	▲ 6.4	プラスチック製シート	プラスチック製パイプ
		化学工業	▲ 0.4	▲ 5.1	けい素樹脂	医薬品製剤
		輸送機械工業	▲ 0.4	▲ 1.3	普通乗用車	ガソリンエンジン
在庫	上昇	電気機械工業	0.3	7.1	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	
		汎用機械工業	0.3	2.9	ショーケース冷凍機内蔵型	室外ユニット(エンジンにより圧縮機を駆動)
	低下	化学工業	▲ 5.7	▲ 9.6	医薬品製剤	
		その他製品工業	▲ 0.1	▲ 19.1	シャープペンシル	マーキングペン

(注)寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	汎用機械工業	0.5	11.6	コンデンシングユニット(7.5kW以上)
	低下	化学工業	▲ 5.6	▲ 32.7	医薬品製剤
出荷	上昇	情報通信機械工業	0.2	14.2	端末装置
	低下	電気機械工業	▲ 2.5	▲ 25.1	半導体・IC測定器
在庫	上昇	輸送機械工業	0.1	27.1	普通乗用車
	低下	その他製品工業	▲ 0.1	▲ 19.1	シャープペンシル

○群馬県鉱工業指数の動き

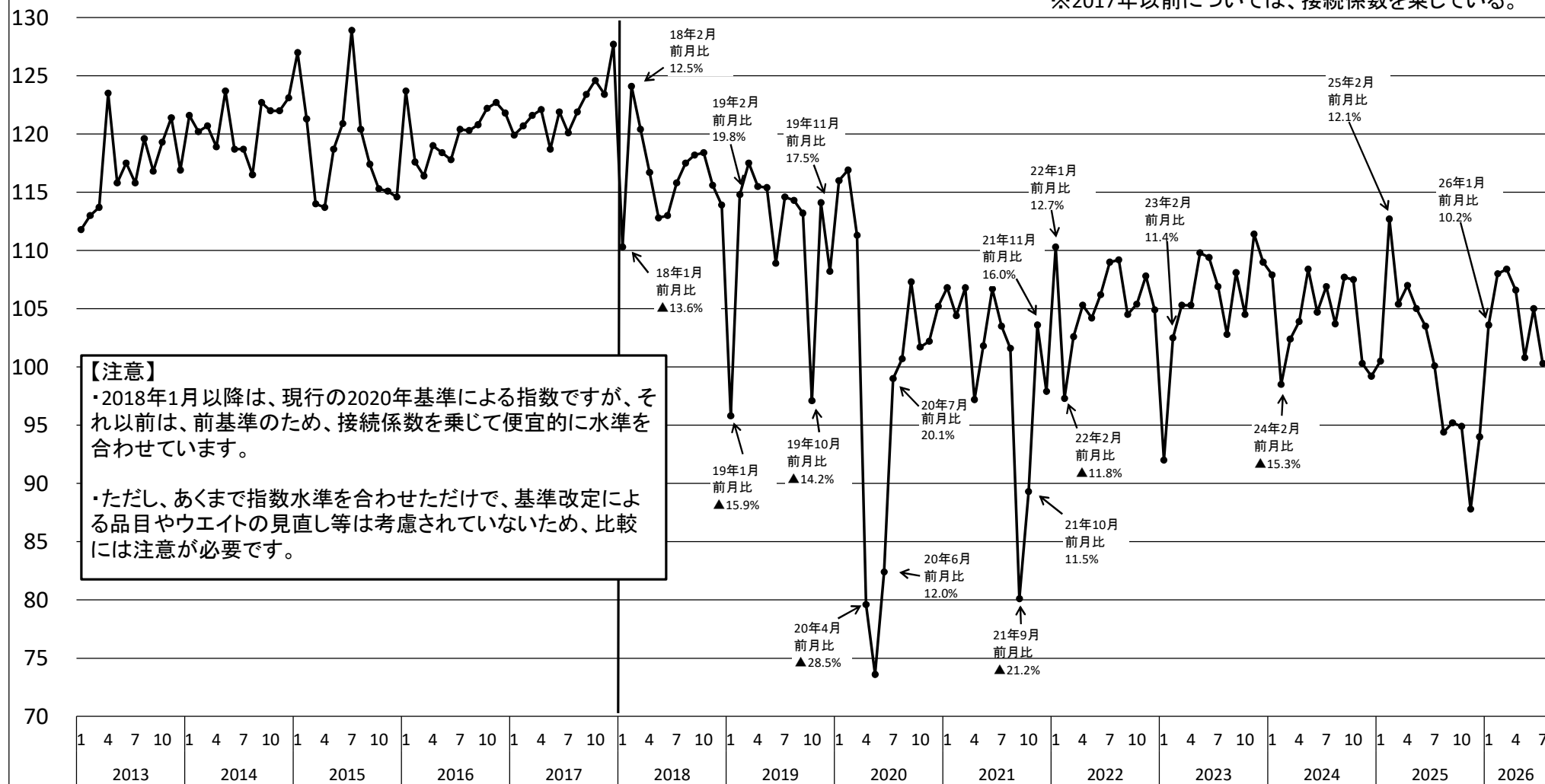


2015年基準: 2013年～2017年 2020年基準: 2018年～2022年 2025年基準: 2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

2020年=100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。

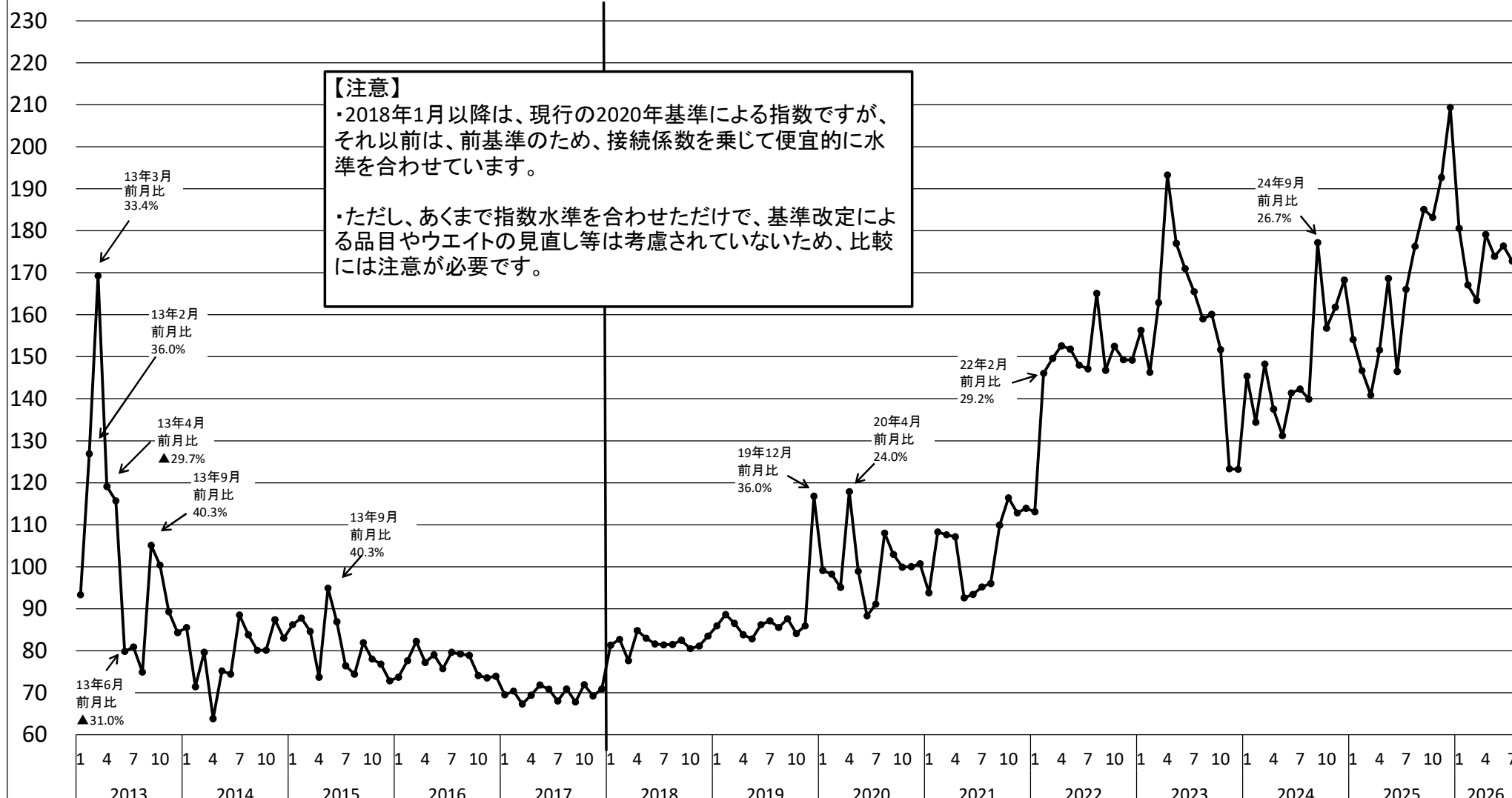


2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年=100



2015年基準:2013年~2017年 2020年基準:2018年~2022年 2025年基準:2023年~2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2年=100

